

## 「相場対応説明書」～予測が外れた場合の対応方法について～

商品先物取引は、予測通り値段が動けば大きな利益を生みますが、逆の場合は損失にもつながりますので常に冷静な判断が必要となります。

予測が外れた場合の対応方法については次の通りです。

### 【建玉を決済せずに取引を継続する場合】

商品相場の変動により建玉の値洗いが悪化して値洗損益金通算額がマイナスとなった場合や、建玉の決済により損金が発生した場合には、「受入証拠金の総額」が減少するため、証拠金不足が生じることがあります。また、商品相場の状況により証拠金の見直しが行われた場合にも不足が生じることがあります。これらの場合に、**建玉を決済せずに維持したまま取引を継続する場合には、不足が発生した日の翌営業日正午までに当社側で確認できるように不足額をご入金ください。**不足額が期限までに預託されない場合は、建玉を処分することがあります。

### 【決済】

建玉を「決済」して損を精算し、取引をいったん終了します。その場合、相場の変動の幅によっては預託した取引証拠金等の額を上回る損失が発生する可能性があります。また、注文が成立したときは売買枚数に応じた手数料が徴収されますので、売買損金に手数料が加算されることにも留意しておく必要があります。

### 【両建】

値上がり、あるいは値下がり予測して建玉したが、予測に反して値段が逆方向に動いた場合、新たに反対の売玉または買玉を建玉することにより、含み損を一時的に固定し、先行きが把握できたと判断される時点で一方を決済し、残った建玉で含み損の回復を追求します。

**両建を行った場合、新たな手数料が必要となります。**差損金はそのまま固定されますが(異限月もしくは、異枚数の場合は、必ずしも差損金は固定されません)、売建玉または買建玉の一方を処分し、その後**予測に反して値段が逆方向に動いた場合は、損金が大きくなる可能性もありますので、十分注意が必要です。**

## 「リスク・リターン説明書」～ご確認ください、リスクとリターンの大きさ～

**少ない資金(総約定代金のおおむね3%～10%程度)で大きな取引**をすることができる商品先物取引は、ハイリスク・ハイリターンな取引です。

### 【金1g当たり3,700円の時に10枚買ったと仮定した場合】

1枚(=1kg)当たりの当社必要証拠金は、7万2,000円です。  
10枚(=10kg)では、72万円となります。

この金10枚(=10kg)を総約定代金に換算すると・・・

**3,700万円**(1g 3,700円×10kg)となります。

このように商品先物取引の**実際の取引規模は、預託すべき証拠金の数倍～数十倍程度の取引**となります。

従って、**ハイリスク・ハイリターン**となります。

